

備前市事務事業評価表

事務事業名	水道料金賦課徴収事業	コード	担当課係	水道営業課 営業係
		01-01-09-02	担当者	文徳啓次
事業実施期間	平成17年度		電話	(0869)66-9792
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	上水道及び簡易水道		
	施策	施設の計画的な整備と簡易水道などの統合/震災・災害などに対する施設整備/環境対策と水の安定供給		

事業について				
目的	検針委託業務を適切に実施して、料金賦課金徴収処理を適切迅速に行い、営業の効率化、社会資本の維持管理を図る。			
対象（誰のために）	上水道使用者	（給水人口 41,311人	給水戸数	15,951戸）
内容	定期検針を実施して算出した使用水量に応じて、使用者に水道料金を賦課し、徴収する。			

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	回数など	回数など
	(単位)	(単位)	(単位)
検針戸数	延べ192,217 戸		
賦課件数	延べ192,217 件		
徴収委託件数	延べ22,136 件		
停水実施件数	延べ30 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	24,729	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	42,480	受益者負担	67,209	人件費		受益者負担	
		市債		市債		市債		
合計	67,209	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	5.00	人		人
結果指標名	検針戸数			
結果指標量	延べ192,217			
単位	戸			
対前年比	—			
事業費	20,182,785	円		円
単当たりコスト①	105	円		円

結果指標名	徴収委託件数			
結果指標量	延べ22,136			
単位	件			
対前年比	—			
事業費	4,547,065	円		円
単当たりコスト②	205	円		円

事業の成果			
成果指標名	収納率	式又は説明	徴収額÷調定額=収納率
成果指標量	17年度		
	98.93%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	99.7%	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：地方自治法・地方公営企業法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	事業費の軽減を図るためには、2ヶ月検針を早期実施する必要がある。 また、料金体系の見直しも必要である。
評価区分	<A~E> <b>C</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	192,217	結果指標量②	22,036
目標値	結果指標量	98.95	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	2ヶ月検針の実施	H20~	委託手数料の軽減
妥当性	料金体系の統一	H20~	料金格差の是正

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識  
上水道事業は、新市(旧備前市、旧日生町、旧吉永町)の区域において給水人口約41,300人、給水戸数約15,900戸の規模で実施されてきた。料金徴収の方法は口座振替83.1% 集金10%、振込6.9%となっているので、集金と振替取扱い分を口座振替への移行を推進する必要がある。料金体系の相違点を見直し料金格差の是正を図る必要がある。

検針業務は100%民間委託しているが現在水道審議会において旧備前市、旧日生町の区域における毎月検針を2ヶ月検針への移行が検討されており実施されれば委託料の軽減がみこまれる。

収納率が目標値を達成できていないので、徴収業務を推進強化していく必要がある。